【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第３区分
【発行日】平成24年12月6日(2012.12.6)

【公開番号】特開2009-81859(P2009-81859A)
【公開日】平成21年4月16日(2009.4.16)
【年通号数】公開・登録公報2009-015
【出願番号】特願2008-253525(P2008-253525)
【国際特許分類】
Ｈ０３Ｂ　5/36　(2006.01)
Ｈ０３Ｂ　5/30　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｈ０３Ｂ　5/36
Ｈ０３Ｂ　5/30　Ａ

【手続補正書】
【提出日】平成24年10月24日(2012.10.24)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
第１の端子と、
第２の端子と、
前記第１の端子と前記第２の端子との間に接続された振動子と、
前記第１の端子と前記第２の端子との間にｍ個（ｍは３以上の奇数）のインバータが接続されたインバータ列と、
前記インバータ列の入力側から数えてｎ番目（ｎは１≦ｎ＜ｍの整数）の前記インバータの入力端子とｎ＋１番目の前記インバータの出力端子との間に接続された第１のコンデンサと、
を具備し、
前記ｍ個のインバータは、ドレイン端子が相互に接続された第１の能動素子及び第２の能動素子を含み、前記第１の能動素子のソース端子は第１の負荷素子を介して接地線と接続され、
前記第２の能動素子のソース端子は第２の負荷素子を介して電源電圧を供給する電源電圧線と接続されていることを特徴とする発振器。
【請求項２】
請求項１に記載の発振器において、
前記発振器は、前記インバータ列の入力側から数えてｐ番目（ｐは１≦ｐ＜ｍでｎ以外の整数）の前記インバータの入力端子とｐ＋１番目の前記インバータの出力端子との間に接続された第２のコンデンサと、
を含むことを特徴とする発振器。
【請求項３】
請求項１または請求項２に記載の発振器において、
前記第１の負荷素子は抵抗素子が容量素子と並列に接続されてなることを特徴とする発振器。
【請求項４】
請求項１または請求項２に記載の発振器において、

前記第１の負荷素子はインダクタンス素子が容量素子と並列に接続されてなることを特徴とする発振器。

【請求項５】

請求項１から４のいずれか一項に記載の発振器を備え、前記発振器の前記第１の端子または前記第２の端子から出力される信号に基づき制御されることを特徴とする電子機器。